

平成30年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：河内長野市立文化会館

指定管理者名：公益財団法人 河内長野市文化振興財団

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	S	S
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	S	S
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	S	A
	備品の管理は適切か。	S	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	S	S
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	S	S
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	S	S
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	S	S
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	S	S
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	S	S
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	61,771,000	56,548,575	5,222,425	60,545,380	
	自主事業収入	53,509,000	44,292,006	9,216,994	39,163,729	
	物品販売収入	420,000	413,168	6,832	989,650	
	手数料収入	2,359,000	2,708,560	-349,560	3,823,026	
	指定管理料	182,640,000	187,380,245	-4,740,245	177,965,254	
	その他収入	3,706,000	7,744,339	-4,038,339	7,458,151	
	収入総額	304,405,000	299,086,893	5,318,107	289,945,190	
支出	人件費	80,326,752	78,981,506	1,345,246	69,165,111	
	事務費	858,000	1,059,479	-201,479	828,000	
	管理費	94,953,000	102,376,429	-7,423,429	91,607,709	
	自主事業経費	99,330,000	87,065,799	12,264,201	86,577,620	
	光熱水費	29,766,000	26,709,496	3,056,504	26,433,542	
	リース料	891,000	915,094	-24,094	890,496	
	その他	536,000	336,952	199,048	879,000	
	支出総額	306,660,752	297,444,755	9,215,997	276,381,478	0
収支差額	-2,255,752	1,642,138	-3,897,890	13,563,712	0	

3. 総合評価

自己評価
<p>文化振興業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化振興事業は7つのカテゴリーに分類し、それぞれの事業目的ごとに着実に取り組み、成果を上げることができた。(入場者数:46,148名) ・「オリジナルミュージカル」、「奥河内音絵巻」などの制作を行い、河内長野から全国に向けた良質な芸術作品の創造発信を行った。特に「奥河内音絵巻」では、ここにしかない奥河内の魅力を新たな手法で発信し昨年に続きチケットは完売となった。 ・市内3小学校及び市内10福祉施設へのアウトリーチ事業を実施し、普段ホールに来場することの少ない方々に芸術の素晴らしさに触れていただいた。また、昨年に続き、大阪教育大学との連携による演奏会に長野小学校・小山田小学校の児童を招き、本格的なオーケストラの演奏を体感する貴重な機会を創出した。 ・映画上映会、ポップスやジャズコンサート、落語など、幅広いジャンルの公演を実施し、市民や地域の方に多くの鑑賞機会を提供した。 ・ラブリーニュースやホームページを活用した広報等により、事業を広く周知することができた。また、「フェイスブック」の活用により、自主制作公演の練習風景や、公演終了後のイベントリポート等、タイムリーな情報発信を行った。 <p>施設管理及び貸館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度は非常に多くの緊急を要する故障等が発生し、指定管理協定を超える修繕費の執行が必要となったが、財団による資金立替により迅速に適切な修繕を行うことができ、利用者の利便性向上と安全確保に努めることができた。 ・施設利用率については、リハーサルルームの98.6%稼働(日別)をはじめ、その他の施設においても高い利用率を維持できた。 ・利用者アンケートの集計結果では、例年どおり高い評価をいただくことができました。中でも「非常に良い」、「良い」を合せた良評価が、受付職員への対応では99.3%、次回利用予定では98.6%と非常に高評価を得た。 ・経年劣化による不具合が頻発し、修理部品の入手も困難なため運用に不安のあった小ホールの音響調整卓を財団資金にて更新した。 <p>法人運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公認会計士と顧問契約を結び、2か月に1度程度外部監査を行い適正な経理業務の執行に努めた。 ・社会保険労務士と顧問契約を結び、労働諸法の適正な遵守に努めた。 ・弁護士との顧問契約を結び、業務実施及び財団運営について各種法令の適正な遵守に努めた。
<p>市評価</p> <p>文化振興事業 等</p> <p>奥河内音絵巻において「おおさか河内材」等の資源を活用し当市の魅力を市内外に向け発信できている。また、「フェイスブック」の活用により、タイムリーな情報発信を行っている点が評価できる。アウトリーチ事業については、市内小中学校及び福祉施設で実施するなど、幅広い市民へ文化・芸術を体験する機会を提供出来ており評価できる。</p> <p>施設管理及び貸館事業</p> <p>施設管理については、経年劣化による事故防止を目的とした予防保全に努めており評価できる。また、貸館事業については高い利用率を維持し、利用者アンケートの結果も良好であり評価できる。</p> <p>法人運営</p> <p>公認会計士、社会保険労務士、弁護士と顧問契約を締結し、適正な法人運営に努めており評価できる。</p> <p>文化会館と市民交流センター両施設の指定管理者となっているため、今後も一体的かつ円滑な管理運営と相乗効果による多様な事業展開を期待する。</p>